

令和5年度第2回東松島市総合教育会議議事録

日 時 令和6年3月21日（木）午後3時から午後4時15分

場 所 東松島市役所 3階 301会議室

出席者 東松島市長 渥美 巖
東松島市教育委員会 教育長 志小田 美弘
東松島市教育委員会 教育委員 木村 和彦
東松島市教育委員会 教育委員 福田 ゆかり
東松島市教育委員会 教育委員 鹿野 あい子
東松島市教育委員会 教育委員 松岡 勝久

傍聴者 2人

次 第

1 開会

2 あいさつ 東松島市長 渥美 巖

3 議題

(1) 報告事項

- ①令和6年度教育関係事業について
- ②令和6年度学校給食費の保護者負担軽減について
- ③令和5年度全国標準学力テスト（4月・12月実施）の結果について

(2) 協議事項

- ①東松島市の子どもたちのデジタルメディアの使用に係る家庭との連携について
- ②東松島市の部活動地域移行の現状の取組と今後の方向性について

(3) その他

- ①児童生徒数の推移について
- ②台湾教育部主催「防災教育者による宮城県防災研修視察」について

4 閉会あいさつ 東松島市教育委員会教育長 志小田 美弘

5 閉会

事務局

ただ今から、令和5年度第2回東松島市総合教育会議を開会いたします。開会にあたりまして、渥美市長からご挨拶を申し上げます。

渥美市長

令和6年度第2回東松島市総合教育会議にあたり、一言あいさつを申し上げます。

本日はお忙しい中、木村委員、福田委員、鹿野委員、松岡委員の皆様にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

3月も下旬ということで、一昨日（3月19日）は小学校卒業式、3月7日は中学校で卒業式があり、明日が小中学校の修了式ということで、今年度も終了となります。

先日、令和4年度から改築工事を行っていた赤井小学校講堂が無事に工事完了し、お披露目式前ですが卒業式を行うことができました。また2月には、鷹来の森運動公園にスケートボードパークが完成し、プレオープンしているほか、大曲小学校の仮設校舎への移転や旧校舎解体、矢本運動公園体育館新築工事は計画どおりに進んでいるところであります。

令和6年度は、矢本一中武道館改修工事や図書館増築、鷹来の森運動公園大規模改修工事を2か年かけて実施する予定であります。鷹来の森運動公園工事は、原子力災害時の避難検査場所となるため、円滑な移動を確保するための通路の拡幅等工事も併せて行う予定であります。また新たな取り組みとして、大田区との子ども交流事業として小学5年生を2泊3日で東京研修に派遣することとしているほか、令和5年度から引き続き、学校給食費の助成を行い、令和6年度は中学校で保護者200円、市190円、小学校で保護者170円、市156円の負担と、半額程度を市が負担し、今後食材費が高騰しても市の負担を増やし、保護者負担はそのまま経済的負担軽減を図ってまいりたいと思っております。

県内では小中無償化が9自治体と増えておりますので、引き続き、国に対して全国市長会等を通じて要望をおこなってまいります。

また、本日午前中にラジオ石巻からインタビューを受けましたが、その中に河北新報のアンケートで小学6年生が東日本大震災の正確な日時を言えなかったという結果について、市長としての受け止めに聞かれました。私といたしましては、震災後県内で唯一、コロナ禍であっても追悼式を開催して来ており、被災地の責務としての震災伝承を行っているほか、各学校でも様々な防災教育に取り組んでいただき、村岡管理監については、文部科学省発行の防災学習の手引きに有識者委員として入っておりますので、本市としては、引き続き震災を知らない方々への伝承をしっかりと行っていきたいと考えております。関連して、報告事項でも詳しく説明いたしますが、明日、台湾教育部から34人の校長先生などが、本市に教育旅行の視察に訪れます。昨年12月に宮城県市長会でインバウンド誘客事業として台湾を訪れた際に、教育部（日本でいう文部科学省）の方と直接お話しして、本市にぜひお越しいただきたいと要望を行ったところであります。本市では自然の家や防災備蓄基地などを視察する予定であります。

本日の会議は、報告事項3件、協議事項2件、その他事項2件ということで、限られた時間の中ではございますが、委員の皆様と有意義な意見交換ができますことをお願い申し上げます。開会のあいさつといたします。

事務局

それでは議題に入ります。東松島市総合教育会議運営要綱の規定に基づき、渥美市長を議長として進行します。渥美市長よろしくお願いたします。

渥美市長

それでは、要綱の定めるところによりまして、議長を務めさせていただきます。よろしくお願いたします。早速議題に入ります。はじめに、議題（１）報告事項、①令和６年度教育関係事業について、②令和６年度学校給食費の保護者負担軽減について、③令和５年度全国標準学力テスト（４月・１２月実施）の結果について、事務局から報告お願いたします。

事務局

教育総務課から資料１ページから６ページ説明。

渥美市長

ただ今説明のあった３件について、委員の皆様から何かご質問ございませんか。

福田委員

学力についてですが、全国との差は分かるのですが、数字よりも各学校で現場の先生や子どもたちが手ごたえをどのように感じているか、学習面において頑張れているなど、色々な対策によって学力が上がっているなどという手ごたえなどをお聞きしたいです。

事務局（教育総務課）

この学力テストの結果は個別にシートとして渡しております。それだけでなく、子どもたちが出来たことを実感するように教師が丁寧にアドバイスをしたり、補助学習をする際に出来た点、出来なかった点などについて励ましの言葉で返しています。目に見えてはつきりここが伸びてきたと分かる結果シートをもらいながら子どもたちが手ごたえを感じられていれば良いと思っております。

教育長

４月と１２月の年２回の標準学力テストですが、平均値として全国との差が縮まってきているなどということが分かるかと思いますが、学校は個別の結果を持っています。「個別支援シート」を作ってどこをどう支援していくか担任の先生が持っており、４月の結果を受けて７か月プランとして１２月まで支援します。また１２月のテスト結果を見て、次の４月までの５か月を「個別支援シート」で応援する、それを使いながら「個」を支援する取り組みをしており、その結果がこの平均値に繋がっています。

松岡委員

給食費についてですが、令和６年度負担額が半額とのことですが、今後、東松島市も無償化に向けた取り組み等はあるのでしょうか。「特定防衛施設周辺整備調整交付金」を活用しているとのことですが、来年度以降も活用するのでしょうか。

渥美市長

給食費ですが、無償化の流れが確かにありますが、財源が豊かな自治体は無償化が進んでおりますが、私は国全体で取り組むことだと考えており、令和6年度については約半額の負担、市としては9千200万円くらい投入しますが、これは引き続き行っていききたいと思います。国として一気に無償にはならないかと思いますが、半額程度の補助事業になっていくのではないかと見通しを立てています。私としては、令和6年度は約半額、令和7年度は2/3程度、その頃には国が半額負担となれば良いと考えております。食育として学校給食は大事だと思っているので、他の自治体に負けないように進めていきたいと考えております。

木村委員

中学校の部活動地域移行についてですが、記載されているのがほぼ運動部だけとなっておりますが、今後吹奏楽部や美術部などの文化部にも目を向けていただきたいと思います。いかがでしょうか。

教育長

地域移行については、稼業日の部活動と週末の部活動に分けた議論になるのですが、文科省も稼業日の部活動まで含むか結論が出ておりません。週末部活動の推移を見て検討していくとのことでした。文化部の場合、実質的に該当するのは吹奏楽部だけだと思いますが、指導者をどうするかが問題で検討中です。基本的には、働き方改革が趣旨の半分ですが、3つの中学校の顧問がローテーションを組んで土日の指導を行っていくことは、今でも出来る現実的な方法で、今の顧問の中でも概ね了解を得ているところです。地域の指導者を確保できればさらに良いなと考えております。

渥美市長

ありがとうございました。その他にございませんか。

それでは、続きまして協議事項に入ります。①東松島市の子どもたちのデジタルメディアの使用に係る家庭との連携について議題といたします。事務局から説明をお願いします。

事務局（教育総務課）

教育総務課から資料7ページから8ページ説明。

渥美市長

ありがとうございました。各校で行っている「でめこんチェック」等の取組みにより児童生徒のデジタルメディア等の使用は概ねコントロール出来ているとのこと、これまでの取組の成果が表れてきているものと思います。今後はさらに、就学前の乳幼児の保護者への啓発にも注力していくため、市としては、子育て支援課や健康推進課とも連携を図っていききたいと考えております。委員の皆様から、何かご質問等ございませんか。

鹿野委員

まず第一に、これが強制的ではなく子どもたちが自主的に相談し結果を出しているということが大変意義があるのではないのでしょうか。今後考えられる取組み3点について、就

学前の乳幼児がいる保護者には非常に大切だと思います。メディアとの正しい付き合い方マニュアルを読んだのですが、基本的には子どもの育て方をきちんと伝えていると思います。これをきちんとすれば素晴らしいお子さんが育っていくと思います。ぜひこの本を乳幼児の保護者と接している関係者の方に熟読していただきご指導いただければと思います。

子育て支援課長

現状としては、健診等の機会に個別相談などでデジタルメディアについて気になる点があれば個別対応をしているところですが、今後は集団での対応も検討していきたいと思います。

鹿野委員

指導書によると、皆さんはこんなにデジタルメディアに時間を割いてはいけないと書いていますが、どのようにしたら良いか具体的な行動を無理強いしないで載せているのでその辺をお伝えいただきたいと思います。

子育て支援課長

乳幼児という点において、子育て支援センターや健診担当の健康推進課など乳幼児と関わる部署と調整しながら進めていきます。確認してみるとゲームというより今は YouTube の視聴時間が長いのではないかと保育所の先生から聞いておりますので、その辺も合わせたアドバイスを送っていただければと思っております。

渥美市長

それでは、続きまして協議事項②東松島市の部活動地域移行の現状と今後の方向性について、事務局から説明をお願いします。

事務局（教育総務課）

教育総務課資料 9 ページから 16 ページ説明。

市長

ありがとうございます。部活動の地域移行については、指導者の確保という大きな課題もありますが、地域の指導者と教員の方々が連携する事により「ひがまつオール」として、子どもたちが安心して部活動に取り組める体制を今後確立していく事になると思います。

このことについて委員の皆様から何かご意見等ございませんか。

福田委員

アンケートや資料を見て感じたのですが、学校の先生、地域指導者、生徒の目的が違うような気がしました。(2) 課題にあるように、地域の指導者からは、地域移行が教員の働き方改革だと言われると矛盾を感じる、子どもからすれば上手になりたい、学校の先生からは自分が経験したこと無い部活動だから専門的な指導者に頼みたいなど、ばらつきがあるので、目的を明確にした方がスムーズに進むのかなと感じました。

事務局（教育総務課）

福田委員のお話はその通りだと思います。どんなあり方が良いのか皆さんから意見をいただかないと進まないと思っております。教員の働き方改革を前面に出すよりも、子どもたちが頑張りたいことをどのように応援できるかを前に出していけば良いのかと考えておりますので、子どもたちのアンケート結果を大切に進めていきたいと思っております。

学校教育管理監

半年以上経ちますが、移行期にあつて、子どもたちにとって合同部活動は有意義であり、部員の少ない学校にとって他校の生徒と触れ合うことは、非常に大きい意味がありました。

その姿を見ていた先生たちも自分たちの働き方改革以上に大きな効果を感じており、改めて部活動へ興味を持ち直す先生もおります。今後他の競技へも拡充していくわけですが、もっと色々な角度から検証を重ねていきたいと思っております。

教育長

地域移行の目的ははっきりしており2つあります。1つは、少子化が進む中、学校部活動としての考えは持たない、不可能であること、2つ目は教員の働き方改革として、長時間勤務の大半が部活動であるということです。やりがいを持って行っている教員もいる反面、全く経験の無い部活動を指導している教員もいます。その中で色々課題を一つずつ解決していき、持続ある形は何かを検討していきます。

渥美市長

最後にその他①児童生徒数の推移、②台湾教育部主催「防災教育者による宮城県防災研修視察について、まとめて事務局より説明をお願いします。

事務局（教育総務課）

資料17ページから24ページ説明。

渥美市長

ありがとうございました。児童生徒の推移ですが、本市の場合は生まれてくる子どもの数が25年前の半分という状況が続いており、色々な策を講じております。

ある一定の規模がないと学校運営は魅力あるものになりませんが、地域の中心が学校なので安易に統合ではなく、可能な限り地域の学校として残せるようにしていきたいと思っております。

また、台湾教育部の視察についてですが、台湾は非常に親日的でありますし、様々な面で協力的であります。今後台湾との交流は様々な面で進めていきたいと思っております。

それでは、以上で予定の議題について全て終了いたしましたので、議長の職を解かせていただきます。ご協力、誠にありがとうございました。

総務課長

それでは、閉会のご挨拶を志小田教育長にお願いします。

教育長

ありがとうございました。貴重なご意見、ご質問をいただき感謝申し上げます。

市役所には市長部局と教育委員会部局があり、役割分担が法律で決められています。しかし、子どもは学校でも家庭でも地域でも育ちます。教育委員会は心と身体を育てられるように努力をしていきたいと思っております。今日、子育て支援課長にでめこんの話題に参加いただけたことはとても意義深いことだと思っております。子どもは総合的に育っていきますので、今後とも、どうぞご支援のほど宜しく願いいたします。

本日はありがとうございました。

事務局

以上をもちまして、令和5年度第2回東松島市総合教育会議を閉会いたします。